

# 朝明けの

♪ 朝明けの 空をはるかに 常念に ♪ (校歌より)

No. 1 2

安曇野市立穂高南小学校

文責 山下貴丈

## 児童会選挙・児童総会

1月29日(木)、来年度の児童会正副会長を決める選挙が行われました。5年生から立候補した3名とその推薦責任者は、緊張感に包まれる中、堂々と演説を行いました。一人ひとりの熱意が真っ直ぐに伝わる素晴らしい内容で、演説を聞いていた児童もその思いをしっかりと受け止めるように、真剣な眼差しで耳を傾けていました。また、これまで準備を進めてきた選挙管理委員も、自らの役割を全うし、演説会を立派に支えてくれました。どの児童の姿からも成長が感じられる、たいへん立派な演説会となりました。投票の結果、令和8年度の正副児童会長が決定しました。



2月12日(木)に児童総会が行われました。インフルエンザ感染予防のため、急遽リモートでの開催となりましたが、役員の方々は動揺することなく、臨機応変に丁寧運営してくれました。各委員長からは今年度の活動報告があり、活発な意見交換が行われ、承認されることができました。



6年生の皆さんは、これから新しい芽である5年生が立派な葉を広げるまで、引き続き温かく見守ってください。全校の力で、この穂高南小学校にさらなる「思いやり」と「笑顔」があふれ、さわやかな風が吹くことを期待しています。1年間、先頭に立って学校を引っ張ってくれた6年生に心から感謝します。

## 発育測定・保健指導が行われました

3学期の発育測定の際、養護教諭による保健指導を行いました。各学年のテーマや内容は、先日配布いたしました「ほけんだより」の通りです。

子どもたちは自身の生活や心の状態を振り返りながら、養護教諭の話真剣に聴いていました。自分事として一生懸命に考えようとする表情からは、確かな心の成長が感じられます。

学びを日々の生活の中で実践できるよう、ぜひ、ご家庭でも保健指導の内容について話題にしてみてください。保護者の皆さんの温かい声かけが、子どもたちのさらなる成長の糧となります。



## 「赤ちゃん先生」 ～2年生 いのちの学習～

「赤ちゃん先生」とお母さん、プロジェクトのスタッフの皆さんが来てくださいました。これは「赤ちゃん先生プロジェクト」の一環で、赤ちゃんを講師として迎え、ふれあいを通して命の尊さを学ぶ授業です。

お母さん方からは、赤ちゃんが生まれた瞬間の感動や、日々の育児に込めた願い、大切に育てている思いなどを伺いました。その後、実際に赤ちゃんを抱っこさせてもらったり、自分の手足と大きさを比べたりする時間を持ちました。

最初は緊張していた子どもたちも、赤ちゃんのやわらかさや温かさに触れると、自然と笑顔に・・・、会場は優しい空気に包まれました。この体験を通して、子どもたちは「自分もこうして大切に育てられてきたんだ」と、自身の成長と家族の愛情を改めて実感したと思います。



## 地域の皆様に支えられて ～学校応援隊感謝の会～

2月25日（水）の朝、一年間にわたり本校の教育活動を支えてくださったボランティアの皆様をお招きし、「学校応援隊感謝の会」を開催する予定でしたが、感染症予防のため、誠に残念ながら中止といたしました。

「学校応援隊」とは、地域学校協働活動として穂高南小学校の子どもたちのために活動して下さる方々のことです。今年度も多方面にわたる温かいご支援をいただきました。

支援の内容は多岐にわたります。6年生の算数指導や1年生の給食支援、放課後学習室での学習補助といった教室での活動をはじめ、生活科の学習支援、読み聞かせなど、子どもたちの学びに深く関わって下さいました。また、校庭の花壇づくり、除草作業などの環境整備、マラソン記録会や登下校の安全見守りなど、保護者の皆様も含めた多くの方々の手によって、子どもたちの安全で健やかな生活が守られてきました。

子どもたちは家庭や学校だけでなく、地域の皆様の温かい手によって育まれています。多くの方が自分たちのために力を貸して下さっていることに、子どもたち自身が感謝の心を持てるよう伝えてまいります。そして、いつの日か自分たちが成長したとき、今度は地域や次世代のために貢献できる大人になってくれることを期待しています。

来年度も、地域の方々とふれ合う機会を大切にし、共に歩んでいければと考えております。  
学校応援隊の皆様、一年間の温かいご支援、誠にありがとうございました。



## 3月の主な予定

3月 5日（木）6年生を送る会	17日（火）卒業証書授与式（5・6年生）
9日（月）～13日（金） 通常5時間授業	18日（水）～4月6日 春休み
16日（月）三学期終業式 離任式 卒業式準備	27日（金）新5・6年生登校日



## 年度末の交通事故防止にご協力をお願いします

年度末は慌ただしく、交通事故が増加する時期です。特に道路横断中の事故が多く、学校でも「止まる・左右の確認・待つ」の指導をしています。

先日、松本市内で小学生が自転車で事故に遭う事案がありました。また、安曇野市内でも「青信号で横断中の児童が車と接触する」という事故が発生しました。青信号であっても決して油断せず、「一度止まって左右を確認する」「手を挙げて横断する意思を伝える」「いざという時に備え、ポケットから手を出して歩く」ことを、ご家庭でも繰り返しお声がけください。大切なお子様の命を守るため、ご協力をお願いいたします。